

OITA DATA SCIENCE EXPO

探究のスイッチを、ON にしよう

2025
6.7 SAT

CONTENT

先端技術のプロフェッショナルたちの講演や、実際に手を動かして楽しめるワークショップを体感できるキックオフイベント。

申込先

学校の先生

申込期間

2025 05 | 中旬 ▶ 05 | 26 月

イベントスケジュール

時間	高校1年生	高校2年生
◆ 09:00	受付＞開場	
◆ 09:30	開会行事(主催者/ご挨拶・イベント趣旨説明)	
◆ 09:50	★オリエンテーション(アイスブレイクワークショップ)	
◆ 10:30	休憩	
◆ 10:40	★データサイエンス講演・ワークショップ	
◆ 12:00	昼休憩／STEAM課題研究特別講座のプログラム紹介	
◆ 13:00	★体験ワークショップ150分 *事前に生徒がコース選択	
◆ 15:30	休憩	
◆ 15:45	★クロージングワークショップ	
◆ 16:15	*STEAM課題研究特別講座の最終告知と申し込みの確認	
◆ 16:30	閉会行事(主催者/挨拶・参加者にエール)/アンケート	

3つのミッションを達成しよう

- 1 探究者としてのスイッチを入れよう！
- 2 STEAM の視点で世界を切り取れ！
- 3 未来の自分に手紙を書こう！

OITA DATA SCIENCE EXPO

◇◇◇◇

修了証

◇◇◇◇

全てのプログラムを受講することで、修了証を授与。

大分県教育委員会

OITA STEAM PLATFORM 事務局



EXPOを通じて、**データサイエンス**と**STEAM**を体感、 生徒一人ひとりの未来を考えるきっかけをつくる

KICK OFF

データサイエンスとは

THINK OUT

ワークショップ

オリエンテーション

9:50~10:30



一般社団法人
STEAM JAPAN

「探究者としてのスイッチを入れよ！」

当日プログラム全体のオリエンテーリング
およびアイスブレイクを兼ねたワークショップ。
自分が気になること、探究してみたいことを
My 探究のテーマ案として書き出してみよう。

テーマ：「日本最先端のデータサイエンス」

10:40~12:00



本田 崇人氏

株式会社メロン 共同代表 CTO
上智大学非常勤講師
データサイエンティスト博士 (工学)

「データサイエンスを自分の武器に」

データサイエンスの基礎を知り、どのように活用してい
くのかイメージを作るための講演・ワークショップ。
実社会とデータサイエンスがどのように関わっているの
か。データサイエンスがわかるとどのように変わるのか
学ぶことができる。

熊本大学大学院博士課程修了。博士(工学)。時系列解析技術を研究。日本学術振興会特別研究員(DCI)、大阪大学特任助教を経てメロンを創業。基礎研究のみならず、社会実装に注力。機械学習モデルの設計から開発、システム導入までの経験豊富。KDD、ICDM等トップ国際会議への採択、受賞歴多数。国内外特許6件取得。

午後のプログラム

A コース SNS × 社会情勢 × データ分析



大分大学 理工学部
大知 講師
プログラム補助
俣江 講師

SNS をデータ視点で考える SNS データ解析ワークショップ

大分大学のデータサイエンスを研究される大和研
究室協力のもと、独自開発された SNS 解析ツ
ールを通じて、現在の SNS 解析を体験し探究する
ワークショップです。

- 準備物：生徒自身のタブレット

B コース 生成AI × 地域課題 × デザイン思考



株式会社メロン
共同代表CEO
本田 講師

生成AIで空き家問題を考える 空き家リノベーション AIデザインワークショップ

大分だけでなく日本全体でも社会問題となる空き家
問題をデータから考え、生成AIを活用して、空き家を
リノベーションし、問題解決に挑戦するワークになります。

- 準備物：生徒自身のタブレット
- ワークショップ中、生成AIを利用するため、
保護者の同意書を提出いただきます。(参加希望者に別途配布)

C コース 宇宙時代 × データサイエンス × 起業マインド



MSD 株式会社
浅野 講師

パラダイムが変わる瞬間 宇宙時代に備える思考ワークショップ

産業革命や IT 革命など、社会の常識が大きく変
わった瞬間を体感しながら、宇宙時代に突入する
私たちが「どんな生活を送り、何が必要になるの
か」を、想像力とチームの力で考えるワークショッ
プです。

D コース 大分宇宙港 × 実験データ × デザイン思考



大分県 & 国東高校
数亀 先生

大分から宇宙へ 宇宙を目指したプロトタイプワークショップ

近い将来、大分宇宙港に着陸するであろう、Dream
Chaser を始め、未来のロケットの形や役割を考え、
探査なのか観光なのか、目的も考えながら、新しい
ロケットを創造するワークショップです。